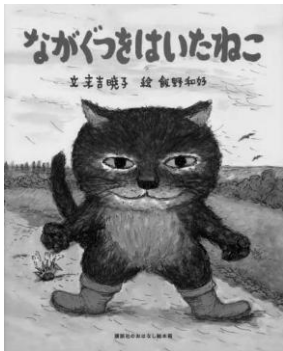


雪眼鏡忘れてしばし眩しけり
 元町 杉山 繁良
 年古りて春セーターの捨てがたし
 西岡町 渋谷みさ子
 舗装路に消えゆく雪や杖の音
 藤本町 池田 良子
 幾重にも山重なりて春霞
 元町 竹内スミエ
 手をふれて姉の死化粧別れ雪
 仲町 徳井 隆男
 春雪に心ときめき髪染める
 旭町 宝澤 房子
 隣からの回覧版に六つの花
 南楼町 宮腰 幸子
 母の編む小さき手袋愛にじむ
 旭町 大河 茂
 春昼やことごとこと洗濯機
 仲町 玉野 研一
 立ち雛ほそき眸に今世かな
 西町 金澤 頼子
 春の星育ちゆく子の幸願う
 元町 印牧 安子
 春の星趣味うるわしく媪かな
 緑町 齋藤 嘉子
 白酒や来し方想い盃すすむ
 仲町 坂部 和子
 限りある生命^{いのち}尊し春の星
 元町 西崎 弘子
 帰路急ぐ車灯横切る猫の春
 屯田町 古屋 克江
 ひな飾り娘のヨチヨチなつかしむ
 仲町 梅基 文子
 教室に落書残し卒業す
 旭町 大河 博子



ひな祭りひとり居なれどちらし寿
 司 旭町 大河内清枝
 久々にひなを飾りて一日^{ひとひ}終ゆ
 西町 岸波 君江
 遊ぶ子の見え隠れする春の雪
 西町 高井 孝子
 冬陽射す窓辺に猫の至福かな
 東町 高草木喜代子
 きさらぎをぬけて弥生の土香る
 西岡町 高瀬久美子
 咳の子と遊ぶ吾が背に日射あり
 東町 高橋世津子
 新しき衣に春の地藏尊
 西町 文梨 清子
 早起きの鴉と目覚む村の春
 仲町 芳賀 星子

information 絵本の館から



『ながぐつをはいたねこ』
 末吉暁子 文
 飯野和好 絵
 講談社
 ペローの名作『ながぐつをはいたねこ』の絵本はたくさんありますが、この本で描かれた「ねこ」は、ご主人さまのために奔走する姿が(ちょっと不細工ですが)一所懸命で一番かわいらしく



『いのちの木』
 リッタ・テッケントラップ
 作・絵
 森山京 訳
 ポプラ社
 ある日、森のキツネが、その生涯を閉じました。森の仲間たちが、親切なキツネとの日々を語り合っていたところ、新しい木が生まれます。大切な人は、いなくなっても私たちの心の支えとな

新着図書

- ・いとしの大衆食堂 (北室かず子 文)
- ・三省堂国語辞典のひみつ (飯間浩明 著)
- ・聖なる怠け者の冒険 (森見登美彦 著) ほか

今月のおすすめ絵本